

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第5部門第3区分  
【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2007-178082(P2007-178082A)  
【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)  
【年通号数】公開・登録公報2007-026  
【出願番号】特願2005-377978(P2005-377978)  
【国際特許分類】

F 2 5 D 23/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/00 3 0 2 D

F 2 5 D 23/00 3 0 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月21日(2008.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも貯蔵空間を有する箱体と、前記箱体に備えられた液体を貯留する貯水槽と、前記貯水槽内の液体を霧化しミストを発生させる霧化手段と、前記霧化手段により発生したミストの量を低減する霧化量調整手段とを備えたものである冷蔵庫。

【請求項2】

前記霧化量調整手段は、前記霧化手段により発生したミストのうち、比較的粒子径の大きなミストを低減するものである請求項1に記載の冷蔵庫。

【請求項3】

霧化量調整手段は、メッシュ部を有しており、前記メッシュ部に霧化手段から発生するミストを直接衝突させることにより所定霧化量を低減する請求項1または2に記載の冷蔵庫。

【請求項4】

メッシュ部を有する霧化量調整手段において、前記メッシュ径または前記メッシュ数を可変できる請求項3に記載の冷蔵庫。

【請求項5】

霧化量調整手段は、板状部を有しており、前記板状部に霧化手段から発生するミストを直接衝突させることにより所定霧化量を低減する請求項1または2に記載の冷蔵庫。

【請求項6】

板状部を有する霧化量調整手段において、霧化手段からミストを貯蔵空間内に噴霧させるミスト発生口に向けて前記板状部は上方向に傾斜している請求項5に記載の冷蔵庫。

【請求項7】

板状部を有する霧化量調整手段において、前記板状部の傾斜角度を可変できる請求項5または6に記載の冷蔵庫。

【請求項8】

板状部を有する霧化量調整手段において、霧化手段からミストを貯蔵空間内に噴霧させるミスト発生口までの距離を可変できる請求項5から7のいずれか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項9】

霧化手段近傍に給水手段を設け、前記給水手段を介して前記霧化手段に水分を安定的に

供給する請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 1 0】

霧化手段の近傍または前記霧化手段と略一体的に液体を保持する貯留水保持部が設けられている請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 1 1】

貯留水保持部に貯水槽を備え、前記貯水槽には外部から供給された水を貯留できる請求項 1 0 に記載の冷蔵庫。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

上記従来課題を解決するために、本発明の冷蔵庫は、少なくとも貯蔵空間を有する箱体と、前記箱体に備えられた液体を貯留する貯水槽と、前記貯水槽内の液体を霧化しミストを発生させる霧化手段と、前記霧化手段により発生したミストの量を低減する霧化量調整手段とを備えたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

請求項 1 に記載の発明の冷蔵庫は、少なくとも貯蔵空間を有する箱体と、前記箱体に備えられた液体を貯留する貯水槽と、前記貯水槽内の液体を霧化しミストを発生させる霧化手段と、前記霧化手段により発生したミストの量を低減する霧化量調整手段とを備えたことにより、霧化装置自体の霧化量がある貯蔵空間には過剰であっても霧化量調整手段によって過剰分の霧化量を低減することで調整した上で貯蔵空間内にミストを供給することにより、野菜表面に多量の水分が付着して発生する野菜の水腐れや庫内に結露が発生するのを防ぐことができ、貯蔵空間に収納された野菜の水腐れや庫内の結露を防止することができるので、食品保存性をより高め、使い勝手をより向上させた冷蔵庫を提供することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記霧化量調整手段は、前記霧化手段により発生したミストのうち、比較的粒子径の大きなミストを低減するものであり、これによって微細ミストのみが選別されて庫内へと噴霧されることで、庫内に噴霧されるミストが微細な軽いミストであるため、ミストの拡散性が向上し、特定の部分へミストが集中することで野菜の水腐れや庫内の結露を防止ことができ、さらに粒子径の小さい微細なミストが噴霧されることで野菜等の食品表面の細胞間隙や気孔等から、食品内部にミストが浸透することができ、食品中の水分含有量を向上することができる。